



思いやり駐車場の導入を
金濱 高顕 議員

問 市では法令に基づき障がい者専用駐車スペースを設置しているが、高齢者や難病の人、妊産婦やケガをした人など、より幅広い人が利用することができ「思いやり駐車場」が必要と考える。市全体の取り組みとして導入を。

災害時に利用できるネットワークの構築

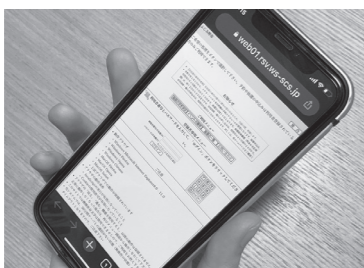
答 必要な準備を進めていきたいと考える。
問 災害時に通信が不通になることにより、家族と再会が困難になること



公共施設予約システムを
スマホ対応に
民部 佳代 議員

問 システム画面はスマホでは小さく見づらく、オンライン決済も対応していない。なぜか。

答 導入から12年経過した古いバージョンであり、更新には初期導入費が1200万円程度かかる。しかし、使い勝手の向上やオンライン決済は重要課題と認識している。今後、システムの更新を検討する。



スマホで見た予約システム

問 現在の施設は元デイサービスとして使用され



多様なニーズに
応える窓口を
川畑 京子 議員

問 ワンストップ窓口のおくやみコーナーを設置しては。

答 現在、関係課の多くがワンフロアに集約されている。関係各課との連携協力により、必要に応じて関係各課への職員の同行や事前の電話連絡なども行っているため、ワンストップ窓口と同様に手続きはスムーズに進んでいると考えている。



問 機器を活用した聞ける窓口を設置しては。



一日で終わる手続きも
成年後見では一年かかる
鈴木 啓太郎 議員

問 障がい者の保護者が亡くなるなどして一人残されて、遺族年金を受け取る手続きをしようとしても一人ではなかなかできない。どうすればよいか。

答 成年後見制度を利用するのが望ましい。地域生活拠点等の事前登録で準備もできる。その人の状態に合わせて、事前に使える制度を利用することを考えておくことを薦める。

市民の参加を求めています

問 市が行うムクドリ対策で、木づちで街路樹を叩いたり、拍子木を使うことに効果があったと思う。市民の協力を求めています。

答 ムクドリ追い出しやパトロールに市民や商店街の協力を求めることは効果が期待できるので、



自転車の交通安全対策
鈴木 美恵 議員

問 事故の抑制には、交通ルールを守ることが大前提だが、自転車の正しいルールが理解されていない。交通ルールの徹底を。



自転車専用通行帯

児童虐待防止対策

問 助けを求める環境整備としてコンビニエンスストアとの連携は。

答 コンビニエンス業界がセーフティステーション活動を展開し、市でも通報を受け子どもを保護したケースがある。引き続きコンビニエンスストアに情報を求めていく。

性犯罪・性暴力のない地域づくりへ

問 専門家による一般向けセミナーを。
答 開催に向けて検討していく。



市内の事業者へ
継続した支援を
床井 紀範 議員



問 コロナ禍・物価高が続いている。独自支援の継続を。

答 これまで様々な事業を実施した。今年度も消費活性化クーポン給付事業等を実施している。

問 業種や業態に応じた支援の具体化を。
答 今後も引き続き有効な施策を検討したい。

就学援助制度の運用の改善を

問 クラブ活動費1万円の増額を。
答 令和3年度の調査では、県内63市町村のうち本市を含む5市町村が支

給している。増額は考えていない。
問 平均支給額は。
答 本市以外は3万1500円を基準としているところが多い。
問 市の1万円と他自治体の3万1500円の差をどのように考えるのか。
答 就学援助以外の支援制度についても、子育て支援策を柱に据えて、様々な角度から施策を推進している。

学校給食費の無償化を

問 憲法の義務教育無償化条項の趣旨を踏まえ、段階的な給食費の無償化の実施を。
答 現在検討していないが、就学援助制度等で支援していることを周知する。



国道254号バイパス土地区画整理